

国連ハイレベル政治フォーラム2020の報告
～コロナ禍からの復興とSDGs 達成に向けた日
本が果たすべき役割～
2020年9月30日

パネルディスカッション

日本の先進取組を交え、SDGsと気候変動・生物多様性・防災の取組との
シナジー向上を探る

国連大学サステナビリティ高等研究所長
山口しのぶ



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

HLPF2020

国連大学が開催・ 参加したイベント

①高等教育サステナビリティ・イニシアティブ (HESI) 特別イベント

- 開催日：7月8日, 15日
- 主催：UNESCO, UNU-IASほか

②国連「行動の10年」支援オンライン会合

- 開催日：7月9－10日
- 主催：持続可能な開発ソリューション・ネットワーク (SDSN、協力：ロックフェラー財団、コロンビア大学)

③座礁資産リスクの管理と新たな可能性

- 開催日：7月10日
- 主催：国連大学アフリカ自然資源研究所 (UNU-INRA、ガーナ)、国連大学環境・人間の安全保障研究所 (UNU-EHS、ドイツ)、UNU-IAS

④自然共生社会の実現に向けて：コミュニティ・ランド スケープ・シースケープを考慮した包括的なアプローチ

- 開催日：7月16日
- 主催：IGES、環境省、コスタリカ環境エネルギー省、生物多様性条約 (CBD) 事務局、国連開発計画 (UNDP)、UNU-IAS



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

① 高等教育サステナビリティ・イニシアティブ（HESI）特別イベント

主催：UNDESA、UNEP、UNESCO、UNU-IASほか

- コロナが高等教育に与える影響について紹介。
- 持続可能な開発とコロナからの復興のための高等教育の再構築について議論。
- UNU-IASメッセージ：持続可能な教育(ESD)プロジェクト/アジア太平洋環境大学院ネットワーク(ProSPER.Net) 参加大学におけるコロナ対応に関する調査を紹介。

② 国連「行動の10年」支援オンライン会合

主催：持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（協力：ロックフェラー財団、コロンビア大学）

- グテーレス国連事務総長、ジェフェリー・サックス教授ほか65ヶ国以上から200校以上の大学学長、国連機関のリーダーが出席。
- コロナの拡大によって特に弱い立場にある人々がその影響を被り、これまでのSDGsに向けた行動の成果が水泡に帰する懸念。大学の果たす役割がより一層重要に。
- UNU-IASメッセージ：
 - ✓ 分野間の縦割りを打破し、サステナブル、レジリエントで、包摂的（inclusive）な社会を構築していくこと、経済復興の政策の中に長期的な視点から環境政策を組み込む事が重要。
 - ✓ 感染症、経済、雇用、環境などが関わりある中でグリーン復興を実現するためには、アカデミアがエビデンスに基づく政策決定と将来世代に対する教育をリードする事が必要。



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

③座礁資産リスクの管理と新たな可能性

主催：UNU-INRA、UNU-EHS、UNU-IAS、協力：UNDECA、UNECA

UNU-INRA HLPF 2020 SIDE EVENT

Managing “Stranded” Assets Risks and Opportunities

July 10, 2020 | 12:00 pm to 1:30 pm EDT



His Excellency Shinjiro
Koizumi
Minister for Environment
- Japan



Dr. Fatima Denton
Director - UNU-INRA,



Dr. Zita Sebesvari
Director - UNU-EHS



Professor Shinobu Yume
Yamuguchi
Director - UNU IAS



Dr. James Murombedzi
Coordinator - UN ECA
(ACPC)



Dr. Minoru Takada
Team Lead - UN DESA,



Chair
Dr. Jean Paul Adam
Director - UN ECA
Technology, Climate
Change and Natural
Resources Management



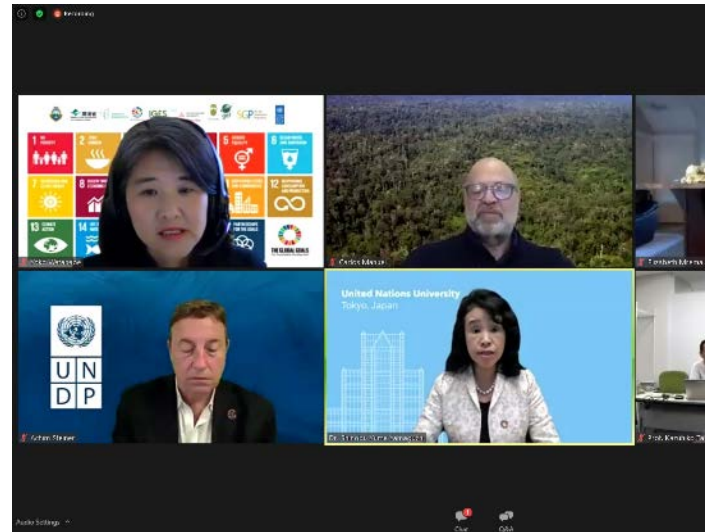
Keynote Speaker
Osagyefuo Amoatia
Ofori Panin Okyenhene
King of Akyem
Abuakwa of Ghana

- アフリカが化石燃料から脱却し「脱炭素化経済」へと移行する際に生じる社会経済的影響と、アフリカにおける資源の多様化と持続可能な開発について議論。
- 小泉大臣メッセージ：途上国への石炭火力発電所の建設支援を行わず、脱炭素化を支援する。脱炭素化はコストではなく、社会的・経済的な価値をもたらす手段として捉えるべき。
- UNU-IASメッセージ：
 - ✓ パリ協定の目標達成のためには、グリーン復興に脱炭素化、生物多様性保全、貧困撲滅、ジェンダー平等などSDGsの実現に資する政策もあわせて組み込むことが必要。
 - ✓ 人口増加、エネルギー需要増加が見込まれるアフリカにおいて、長期的かつSDGsの視点から再生可能エネルギー投資を進め、社会的・経済的な価値を高めていくことが重要。

④自然共生社会の実現に向けて:コミュニティ・ランドスケープ・シースケープを考慮した包括的なアプローチ

主催:IGES、環境省、コスタリカ環境エネルギー省、生物多様性条約(CBD)事務局、国連開発計画(UNDP)、UNU-IAS

- コロナ復興にSATOYAMAイニシアティブ、ランドスケープ・アプローチがどのように貢献できるを議論。
- UNU-IASメッセージ
 - ✓ SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ(IPSI)のこれまでの10年間の活動を通じて200を超えるケーススタディを実施。
 - ✓ IPSIを通じて、ランドスケープ・アプローチがもたらす生物多様性の保全や社会経済的な便益に関する知見を収集し世界に発信。
 - ✓ 今後、ポスト2020年生物多様性枠組の実施に貢献。





UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

SDGsシナジー強化に向けたUNU-IASの貢献

- UNU-IASの全プログラムのシナジー強化とマルチ・ステークホルダー連携の強化を通じて環境保全及び経済・社会へのインパクトをスケールアップするための戦略策定と組織改革を実施中。
- 環境省と連携して、政府が実施する事業のPDCAに、SDGsのすべてのゴールに対するインパクト評価を組み込むための仕組み作りの検討を開始。
- UNU-IASの各プログラム及びSDGsに関するインパクト評価の活動成果をパリ協定やポスト2020生物多様性枠組のモニタリング・評価のシステムにインプット。
- SDGs推進本部／SDGs推進円卓会議等への参画を通じて、SDGs間のシナジーを強化するための政策枠組み作りに貢献。
- 2020年8月に国連大学SDG大学連携プラットフォーム(SDG-UP)を設立。SDGsを軸とした国内の大学の連携強化、SDGsを推進する大学とステークホルダーとの協働を通じて、国際社会における日本の大学の存在感の向上を図る。